

函 保 予
令和6年(2024年) 4月11日

報道機関各位

市立函館保健所保健予防課長

市内における「A群溶血性レンサ球菌咽頭炎」流行状況について

当保健所では、市内の定点指定医療機関から感染症の発生状況を定期的に報告いただき定点観測を行っております。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が令和6年第14週の報告(速報値)において警報継続となりましたのでお知らせいたします。

記

1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎報告状況

報告週	区分	報告数 (人)	定点あたり 報告数(人)	警 報 注意報
令和5年	第50週(12/11~12/17)	30	5.00	
	第51週(12/18~12/24)	53	8.83	警報発令
	第52週(12/25~12/31)	37	6.17	警報継続
令和6年	第1週(1/1~1/7)	21	4.20	警報継続
	第2週(1/8~1/14)	50	8.33	警報継続
	第3週(1/15~1/21)	60	10.00	警報継続
	第4週(1/22~1/28)	77	12.83	警報継続
	第5週(1/29~2/4)	82	13.67	警報継続
	第6週(2/5~2/11)	69	11.50	警報継続
	第7週(2/12~2/18)	63	10.50	警報継続
	第8週(2/19~2/25)	67	11.17	警報継続
	第9週(2/26~3/3)	57	9.50	警報継続
	第10週(3/4~3/10)	86	14.33	警報継続
	第11週(3/11~3/17)	70	11.67	警報継続
	第12週(3/18~3/24)	77	12.83	警報継続
	第13週(3/25~3/31)	60	10.00	警報継続
	第14週(4/1~4/7)	39	6.50	警報継続

定点医療機関数：6カ所

※基準値 警報開始基準値 定点あたり報告数8.00人
警報継続基準値 定点あたり報告数4.00人
警報発令となった場合は継続基準値を下回るまで継続します。

2 予防について

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌という細菌に感染することで起こる病気です。患者の咳や唾を吸い込んだり、細菌に汚染された手を口に持っていったりすることで感染すると考えられています。

予防策としては帰宅時、食事の前にはうがいや手洗いを丁寧に行うことです。全国、全道の発生状況につきましては下記のホームページで確認できます。

感染症疫学センター（国立感染症研究所）

<http://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>

北海道感染症情報センター（北海道立衛生研究所）

<http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html>

感染症・難病担当

TEL 32-1547

FAX 32-1526